

# 五瓣の椿

観賞日 2018・6・11

制作 1964年 日本

上映時間 163分

原作 山本 周五郎

脚本 井手 雅人

監督 野村 芳太郎

音楽 芥川 也寸志

撮影 川又 昴

出演 岩下志麻（むさし屋の娘・おしの他全5役）、左幸子〈おしのの母・おその〉、加藤嘉（むさし屋の主人・喜兵衛）、加藤剛（八丁堀の与力・青木千之助）岡田英次（袋問屋主人・丸梅源次郎）

## 【あらすじ】

第1部：時は天保5年、場所は江戸市中。商家むさし屋の一人娘おしのは仕事一筋の父親が病気になり明日をも知れぬ状況にもかかわらず放蕩を続ける、母親おそのに強い憤りを抱いていた。さらに、喜兵衛が死んだ直後にも態度を変えず悪口を言い続けるおそのに対し、遂におしのの堪忍袋は切れ、家に火を放つておそのを焼死させる。

第2部：おしのは母親と関係した男に次々と天罰を加えていくが、そこにはかんざしの一突き、傍に五瓣の椿が置かれているという共通点があった。八丁堀の与力青木はその手口から若い女性が下手人であると睨んで捜査を開始していく。

父親譲りの律義さと娘らしい潔癖さで、法では裁くことができない悪人を断罪していくおしのに同情しつつも役目を果たさざるを得ない与力青木。二人の間に徐々に淡い感情が芽生えて・・・。

## 【解説】

### ■ポイント

- ・松竹が総力を挙げて制作した時代劇大作

制作：城戸四郎、脚本：井手雅人、撮影：川又昴、音楽：芥川也寸志、監督：野村芳太郎の豪華スタッフ陣。名作「砂の器」（1974年）のスタッフ（野村・川又・芥川）、キャスト（加藤剛・加藤嘉）が本作制作にも関与。

### ■見どころ

- ・岩下志麻の演技

その後日本映画界を代表する大女優となった岩下志麻の若き日の演技23歳にして大作の主演をつとめ期待に応える。その後の活躍はご存知の通り。

- ・山本周五郎、原作の力

当時の人気作家である名うてのストーリー・テラー山周（黒澤明も多数映画化）